



# Via Latina 22

2023年4月 320号

## 総本部よりのお知らせーマリア会

|  |   |
|--|---|
| 総長評議員会のUSAへの視察訪問 .....                   | 1 |
| マリアニスト家族の保護の祝日（マリアニスト召命を祝う） .....        | 4 |
| 尊者Domingo Lázaro神父と尊者Vicente神父 .....     | 5 |
| カリスマ家族と一致して福者ギョーム・ヨゼフ・シャミナードに向かう祈り ..... | 6 |

## 総長評議員会のUSAへの視察訪問

この2ヶ月間、総長評議員会の4名のメンバーはUSA管区を視察訪問しました。これはパンデミックが理由で長い間その日程が延期となっていた視察訪問です。当初、2020年に、それから2021年に計画されていたので、総長評議員会と管区は今年の1月末から3月末の間にこの視察訪問が漸く実現されたのを喜んでいますが、容易に想像出来るように、異なる多くの共同体と宣教活動を伴う幅広いこの行政単位への訪問は大変複雑なものです。それでも管区指導部の素晴らしい組織運営と、同時にどの場所でも兄弟愛にあふれたもてなしのお陰で、全てがうまく行われました。

サンアントニオで一緒に訪問を開始した後、総長評議員会は2つのペアに分かれAndré師とMichael士が西方面へ、一方Pablo師とMaximin士は東方面に向かいました。彼らは、ホノルル、プエルトリコ、そしてメキシコを含む全国を回り視察を行いました。8週間経った最後に彼らはセントルイスに集まり、そこで総長評議員会として視察訪問の体験を分かち合い、そして報告書を管区長評議員会に提出しました。



ニュージャージー州のケーブ・メイ共同体  
Pablo師とMax士とともに

この管区は、インドを除いて、USA、アイルランド、プエルトリコ、そしてメキシコに約200名の会員を有し、彼らは25以上の共同体に配置されています。この管区は17の中等学校、3つの大学、そして幾つかの小教区で福音宣教を主導しており、加えて他に多種類の奉仕活動があり、黙想センター、社会奉仕活動、芸術活動、そして大変ユニークなマリア図書館がこれに含まれています。内部の役務も同時に大切なもので、とりわけ国内マリアニスト公文書、NACMS(北アメリカマリアニスト研究センター)、マリアニスト・ミッション、そして管区内業務です。総長評議員会は、とても兄弟的で、目的に適った、そして思いやりある雰囲気の中で管区の多くのメンバーが住んでいる、3つの高齢者の介護施設共同体を訪問出来て幸いでした。



FMI会員とSM会員が昼食をともにする  
故Cletus Behlmann士による原画に囲まれて

この管区は、マリア会の他の多くの行政単位と同様、そのメンバーの高齢化とその宣教活動を継続する能力について不安を覚えています。管区のメンバーの助けと同伴を得てマリアニストの宣教活動に全面的に関わっている信徒協力者の皆さんのお陰で、管区の様々な活動には活気があります。総長

評議員会は、これらの活動がこの継続した協働によって力強く継続していくよう期待を表明しました。もちろん、召命司牧もまた、管区の中で優先度が高いのはよく分かっています。この管区と韓国地区のために、志願者と養成下にある人たちがいます。将来を見極める人たちのためのインスピレーションとして、召命についての話題と私たち自身の生活の証しは、管区全ての共同体において話し合われる話題の一つでした。



**ホノルルで会員として約束をした信徒マリアニスト共同体  
の新しいメンバーが総長Fétis師に祝福される**

マリアニスト家族もまたUSAで大変活発です。SMの修道者のほかに、FMI修道女は、少数ではあるが、サンアントニオとデイトンでの協働活動において大変有能な働きをしています。幸いなことに、彼女たちも修道生活への幾人かの志願者と修練者を有しています。マリアニスト家族の信徒メンバーは種々のグループに属しています：信徒マリアニスト共同体、アフィリエ、私誓願の信徒奉献者（the State）、そして献身的な協働者。これらの人々は全て活動的で、ほとんどはマリア会共同体と事業体がある地域においてですが、私たちがいない幾つかの地域でも活動的です。信徒マリアニスト共同体のため、今は給与を得てフルタイムで任務に就いている責任者がいて、その組織、メンバーの養成、そして他の率先的活動に関するしっかりした基盤を監督しています。



**視察訪問の終わりに行った  
総長評議員会と管区長評議員会との会合**

もちろん、管区には様々な解決すべき課題があります。管区の大きさそれ自体が管区本部のメンバーにとって一つの大きな課題であり、全体の一致を保つために多くの努力がなされています。それでも、すべての会員が管区内のマリアニスト修道生活を保ち強めるべく活動しています。総長評議員会は自分たちが受けた歓迎のためだけではなく、世界のマリア会でUSA管区が果たしている重要な役割の故に感謝を表明しました。アメリカ管区の修道者と使徒的事業を祈りの中で思い起こし、彼らの上に神様の祝福と母マリアの保護を願いましょう！

---

## マリアニスト家族の保護の祝日（マリアニスト召命を祝う）

神のお告げの祝日は、マリアニスト家族の保護の祝日として選ばれましたが、それは、おとめマリアの“はい”が、私たち人間の歴史に入りそれを救うために私たちの人間性をお取りになった、み言葉であるイエス・キリストへの入口であったからです、それはマリアの胎内におけるみ言葉の受肉の祝日です。この祝日はまた、世界におけるマリアの使命を受け継ぐ以外の何物でもない、マリアニスト召命の祝日でもあります。このように、マリアニスト家族はキリストへのドアを開き、全ての人にキリストを告げ知らせたいと望んでいます。



2023年3月25日、マリアニスト男女修道会と信徒マリアニスト共同体から成るローマのマリアニスト家族は、ローマのマリアニスト“マリアの御名”小教区に集まり、マリアニスト家族の賜物をお祝いし、その賜物を神に感謝しました。私たちはマリア会の総代理であるMiguel Ángel Cortés師が司式するお祝いのミサに出席しました。ローマに在住する数人のマリアニスト司祭がMiguel Ángel師の司式に加わりました。Miguel Ángel師はその説教の中で、洗礼は私たちの生活の原理と基盤であり、この洗礼にこそ、私たちの最も深く、最も本物の個人的、団体的アイデンティティがあることを思い起こさせました。私たちにとって、さらに、そのような賜物はマリアニストカリスマであり、それは洗礼の体験に特有の形を与えます。私たちの洗礼を通して、私たちはシャミナード神父の言葉にある“聖なる民”となる共通の招きを受けています。

私たちは、私たちの一致の絆を強化してくれるこの祝日の祝いを神に感謝します。私たちは聖性への旅路において同じ唯一のカリスマ的家族に属する精神をお祝いします。式典の最後にお祝いの食事が供されました。

## 尊者Domingo Lázaro神父と尊者Vicente神父

マリア会は新たに2名の尊者を頂きます。Domingo Lázaro Castro神父とVicente López de Uralde Lazcano神父です。このことは教皇庁列聖省の2つの法令で公布され発表されました。

2023年2月1日水曜日に、尊者Domingo Lázaro Castro神父とVicente López de Uralde Lazcano神父のマリア会列聖請願総代理は、2名の尊者の発令を教皇庁、列聖省にて受理しました。

### CONGREGATIO DE CAUSIS SANCTORUM

MATRITENSIS

BEATIFICATIONIS et CANONIZATIONIS  
SERVI DEI  
DOMINICI LÁZARO CASTRO  
SACERDOTIS PROFESSI  
SOCIETATIS MARIAE (MARIANISTARUM)  
(1877-1935)

### DECRETUM SUPER VIRTUTIBUS

“Qui autem docti fuerint, fulgebunt quasi splendor firmamenti; et, qui ad iustitiam erudierint multos, quasi stellae in perpetuas aeternitates” (Dn 12,3).

Haec verba valde tribui possunt Servo Dei Dominico Lázaro Castro, qui omnino vita suam tradidit christianae puerorum iuvenumque institutioni in arduis Catholicae Hispanicae Ecclesiae temporibus.

Servus Dei natus est Sancti Adriani v.d. de Juarros, in dioecesi Burgensi, die 10 mensis Maii anno 1877. Iam a pueritia sui

“尊者”の発令による公布は、聖人への道程で重要なステップとなります。列聖省、枢機卿長官の発令は私たちの兄弟、Domingo 神父とVicente神父の福音的有徳の生涯を教会の前で確認するのです。この発令は事務的な行為ではなく、教皇の判断と決定に従う教皇の権威の行為なのです。この発令をもって、教皇は私たちの2兄弟が素晴らしいキリスト教的生活に特有の、信仰、希望、そして愛の対神徳に生きたことを確認し、公布します。これに加え、彼らは完成された人間的成熟に関わる、賢明、正義、節制、および剛毅の枢要徳に生きました。最後に、発令は修道者と司祭の身分に結びつく次のような徳に彼らが生きたことを言明しています：謙遜、祈り、修道誓願への最も忠実な遵守、おとめマリアへの愛、熱心な福音宣教、そしてご聖体への愛。これら全ては福者ギョーム・ヨゼフ・シャミナードの息子であるマリアニスト修道者に特有のものであります。

教皇庁列聖省は、Covid-19のパンデミックの間、2019年5月に、尊者Domingo神父についての発令を公表し、署名し、そして一般公開しました。このパンデミックが理由で教皇庁列聖省は列聖請願者に係わるその事務的業務を中断し、そしてその時点ではマリア会列聖請願総代理、Antonio Gascón師にこの発令を伝えませんでした。Vicente神父についての発令は2023年1月19日に署名され公開され、その発表の直ぐ後に請願者に伝えられました。

この2つの発令の中に、私たちの2名の新しい尊者Domingo 神父とVicente神父のマリアニスト生活についての適切な要約が見られます。これらの発令はまた、各々の霊的横顔についての素晴らしい集大成を私たちに示してくれます。私たちの2名の新しいスペイン人マリアニスト尊者のため感謝のミサをあげるようお勧めします。

### DICASTERO DELLE CAUSE DEI SANTI

GADICENSIS et SEPTENSIS

BEATIFICATIONIS et CANONIZATIONIS  
SERVI DEI  
VINCENTII LÓPEZ DE URALDE LAZCANO  
SACERDOTIS PROFESSI SOCIETATIS MARIAE  
(1894-1990)

### DECRETO SULLE VIRTÙ EROICHE

Allora Pietro gli si avvicinò e gli disse: “Signore, se il mio fratello commette colpe contro di me, quante volte dovrò perdonargli? Fino a sette volte?”. E Gesù gli rispose: “Non ti dico fino a sette volte, ma fino a settanta volte sette” (Mt 18,21-22).

Il Servo di Dio Vicente López de Uralde Lazcano, accogliendo l'invito del Signore Gesù Cristo, ripeteva spesso: “Perdonare, perdonare tutto”. Nel Servo di Dio i fedeli trovavano un sacerdote misericordioso, dedito a donare il Sacramento della Riconciliazione agli studenti, ai confratelli marianisti, ai seminaristi, ai sacerdoti, alle suore e a un numero incalcolabile di

## 聖性委員会：Via Latinaで新しいシリーズ記事を掲載

今回のVL22発行と2023年のこれから続く発行において、マリアニスト福者、あるいは私たちが列聖調査を導入したいマリアニスト家族の人たちへ向けられる祈りを促進するため、シリーズ記事が紹介されます。これらの兄弟姉妹は単に信仰の模範だけではなく、神様の愛が具体化される通路として私たちを支えてくれる聖性の道の同伴者でもあります。

これらの人たち各々は、祈りの中に存在するであろう教会的あるいは社会的現実、そして独自の形で彼らを取り成しを求められる現実と繋がっているのです。

## カリスマ家族と一致して福者ギョーム・ヨゼフ・シャミナードに向かう祈り



「神は、悪の奔流に、堅固な堤防を築いて対抗させるため、今世紀の初頭にあって、私に、教皇派遣宣教師の勅許状を懇願致すよう、靈感を与えられました。それは、信仰の松明を、至る所に再び点じるためであります。どのようにしてかと申しますと、感嘆している社会に向かって、すべての所で、あらゆる老若男女、あらゆる身分のカトリック信者の、威厳に満ちた集団を指し示しながら、点じるのであります。」(1838年9月16日、シャミナード神父から教皇グレゴリオ16世への書簡、書簡IV巻、1076)

シャミナード神父がこれらの言葉を教皇に書き送った時、彼は同じカリスマを分かち合い、熱心にそして公然と信仰に生きるあらゆる生活身分の大きなキリスト者のグループとしてのコングレガシオンに言及していました。しかしながら、これはすばらしいものではあったのですが、十分なものではありませんでした。自分の仕事を完成するために、彼は同じカリスマから生まれ出る2つの修道会：汚れなきマリア修道会とマリア会、を創設したと言葉を継ぎます。教皇へ紹介されたこのグループ全体は、今日、教会において“カリスマ家族”と呼ばれています。すなわち、自分たちの信仰生活において同じカリスマを分かち合い、お互いに補完し助け合うあらゆる生活身分の洗礼を受けた人々の一つのグループなのです。疑いもなく、第二バチカン公会議の成果の一つは、聖霊の働きのしるし、および未来を約束する現実である、教会におけるこれらカリスマ家族の進展です。カリスマ家族は永続的な教会の召命の今一つの表明なのです：“あなた方は、選ばれた民、王の祭司、聖なる国民、神のものとなった民です。それは、あなた方を闇の中から驚くべき光の中へと招き入れてくださった方の力ある顕現を、あなたがたが広く伝えるためです。”(1ペトロ 2・9)

私たちは教会に現存するカリスマ家族を私たちの祈りの中で思い起こし、彼らに感謝し、生活と信仰の強度を彼らに与えてくださるよう福者シャミナードに祈りします。そうすれば彼らは世界の人々に奉仕する教会の刷新のパン種)となるでしょう。

神なる聖霊よ、  
私たちはあなたに感謝致します。  
あなたは多くのカリスマをもってあなたの教会を豊かにし、  
また、これらのカリスマに生きる男女を  
教会共同体全体、および人類家族全体への奉仕に  
招いておられるからです。

福者ギョーム・ヨゼフ・シャミナードよ、  
あなたはマリアニスト家族について夢を抱き、  
教会刷新のために奉仕するにあたり、  
マリアニスト家族が生まれ発展するよう休みなく働きました。

私たちは、聖霊がその教会において呼び覚まされた全てのカリスマ家族と手を取り合い、  
その家族のメンバー一人ひとりが熱意と忠実さをもって、頂いた賜物を生きるよう願います。  
そして彼らが皆、福音の刷新する力の雄弁な証し人となりますように。  
アーメン。



## 第36回総会（2024年7月）の準備

### 第36回総会（2024年）：一緒に若者に耳を傾けましょう

私たちの次の総会のための準備における意見聴取が始まっています。それを忘れないようにしましょう。共同体においては、1月に皆さんに送付された意見聴取を用いて、遅れることなくこれについての考察をスタートさせましょう。また、若者たちと関わる仕事をしている多くの信徒やマリアニスト家族メンバーをこの考察に参加してもらおうのを忘れないようにしましょう！

よろしくお祈りします！ 聖霊が私たちに照らしてくださいますように！



2023年ご復活祭日曜日にあたり、  
Via Latina 22はその読者に向けて  
復活した主が全世界の人々に  
平和をもたらして下さるよう  
祈りながら心からのお祝いを  
申し上げます。